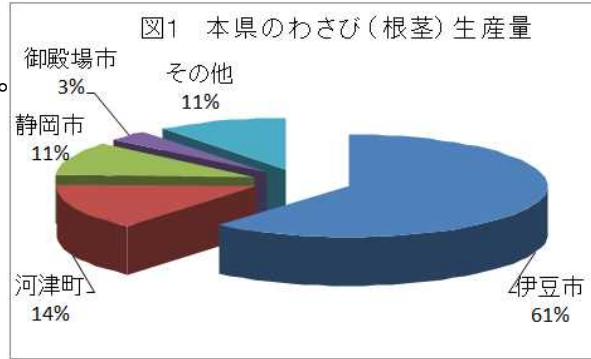


世界農業遺産のわさびを活用した地域振興

活動期間：令和2年度

○ 取組の背景

- 1 「静岡県の水わさび伝統栽培」が平成30年に世界農業遺産に認定されるなど国内外でわさびが注目されている。
- 2 伊豆市は本県のわさび(根茎)生産量の61パーセントを占める大産地である。
- 3 わさび苗供給業者からの苗が必要量に対して不足し、わさびの栽培面積が減少している。
- 4 特に、秋苗は主な供給業者が令和4年度に苗生産を中止する予定のため、秋に定植する苗が不足することが懸念される。



○ 課題・目標

- 1 優良苗供給体制づくり
 - ・わさび苗の安定生産や苗生産施設の設置などを産地内で検討するための場づくりを行う。
 - ・苗の必要数量を確保するため、わさび苗の新たな供給業者を開拓し、供給元の多角化を図る。
- 2 わさび苗の確保対策
 - ・供給量拡大を推進するため、鉢花生産者による苗の供給体制の確立を支援する。
 - ・秋苗を確保するため、苗保存用冷蔵庫を活用した長期間冷蔵技術を導入する。

普及指導員の活動

○ 推進方向1 「優良苗供給体制づくり」

- わさび苗安定生産協議会の組織化
- 苗の安定生産対策の検討
- 苗供給業者の開拓
 - ・苗の必要量を確保するために新たな供給業者の開拓を進めた。

表1 わさび苗安定生産協議会の設立

事業内容	わさび苗安定生産に関すること
構成員	JA伊豆の国、わさび委員会、伊豆市、県
事務局	JA伊豆の国
設立年	平成28年8月

○ 推進方向2 「わさび苗の確保対策」

- 鉢花生産者による苗供給体制の確立
 - 新たな有望品目を探していた鉢花生産者に対して、わさび苗を提案し、苗の試作、委託生産を支援
 - ◇ 管内の生産者(わさびと鉢花)の結びつきを提案
 - ◇ 東部花き流通センター農協わさび苗部会の設立
 - ◇ 農林技術研究所と連携した栽培のマニュアルづくり
 - ◇ ほ場巡回やわさび苗部会研修会の開催
 - ◇ 栽培に係る経費や労働時間に関する調査



図2 わさび苗部会研修会

■ 冷蔵庫を活用した秋苗の確保

- 春苗を長期間(約3ヵ月)保存することにより、秋苗を確保する技術を導入
- ◇ 長期冷蔵試験の実施(令和元年度)
- ◇ 県事業(中山間地域農業振興整備事業)を活用し、モデル的に恒温高湿冷蔵庫を導入

図3 わさび苗の作型

凡例 ○:は種、●:移植、■:出荷 ◆:入庫



具体的な成果

○「優良苗供給体制づくり」

■苗の安定生産対策の検討

- ◇わさび苗の入手状況の把握(わさび生産技術科アンケート)
- ◇春苗及び秋苗の確保対策の作成

■苗供給業者の開拓

種苗会社、JA富士市及び東部花き流通センター農協（鉢花生産者）の3つの新たなわさび苗の供給業者を開拓したことにより、必要苗数は確保できる見込みとなった。

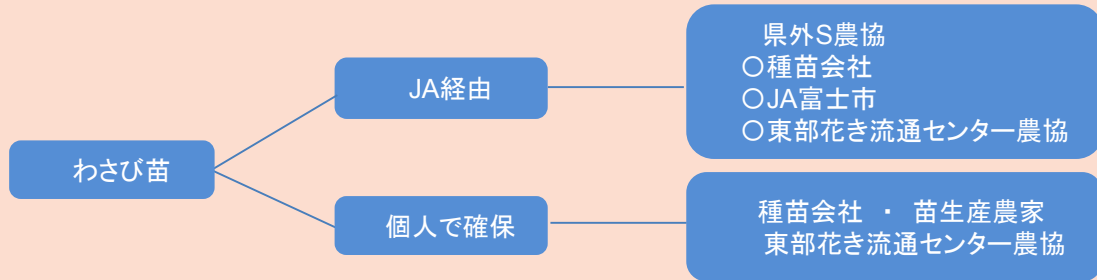


図4 わさび苗の供給体制

○:わさび苗の新規供給業者

○「わさび苗の確保対策」

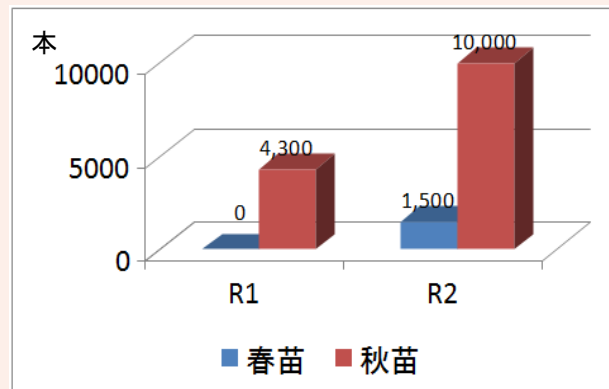
■鉢花生産者による苗供給体制の確立

- ◇管内の顔が見える生産者同志(わさびと鉢花)の連携
- ◇苗生産マニュアル(春苗・秋苗)の作成
- ◇鉢花生産者による委託生産の実施
 - ・春苗1,500本、秋苗10,000本を供給(令和2年度)

表2 委託生産に取り組む生産者数

生産者数	令和元年度	令和2年度
春苗	0人	1人
秋苗	3人	3人

図5 わさび苗の委託生産(実績)



■冷蔵庫を活用した秋苗の確保

秋苗の確保対策として、恒温高湿冷蔵庫を活用した苗の長期保存に取り組み、一定量を確保することが可能となった。

- ◇恒温高湿冷蔵庫2台を整備(事業費7,366千円)

- ・冷蔵庫の管理運営マニュアルの作成
- ・苗冷蔵経費の試算

表3 恒温高湿冷蔵庫の活用状況

導入実績	3坪冷蔵庫 2台
導入時期	令和2年8月
温度設定	2~3℃
湿度設定	90%
入庫苗数(実績)	3万本
定植農家数	5戸

今後の方向

■苗の供給量の拡大によるわさび経営の発展

- ・将来見込まれる既存供給業者の撤退があっても優良苗を確保できる体制を確立する。
- ・秋苗を安定的に確保するため、長期冷蔵技術を確立し、産地での普及を推進する。

■わさび苗生産による鉢花経営の安定

- ・わさび苗を持続的に周年生産できる栽培体系の確立とわさび生産者との受注調整が円滑にできる体制を整えることにより、鉢花生産者の経営を安定させる。

- ・冷涼地における苗生産の拡大に取り組み、秋苗を安定的に供給する体制を整える。

- ・将来的には県下全域へ苗を供給出来る体制へと発展させる。